

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.79	-0.08
JPY/THB	0.2152	-0.0002
USD/JPY	147.72	-0.23
EUR/THB	37.52	0.09
EUR/USD	1.1803	0.0057
USD/CNH	7.115	-0.004
SGD/THB	24.79	-0.01
AUD/THB	20.98	-0.03
USD/INR	88.32	0.21
USD Index	97.34	-0.30

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.146	-0.008
10Y (THB)	1.318	-0.023
5Y (USD)	3.701	0.025
10Y (USD)	4.147	0.019

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,744.8	68.8
WTI (Oil)	62.64	-0.04
Copper	9,972.5	-16.5

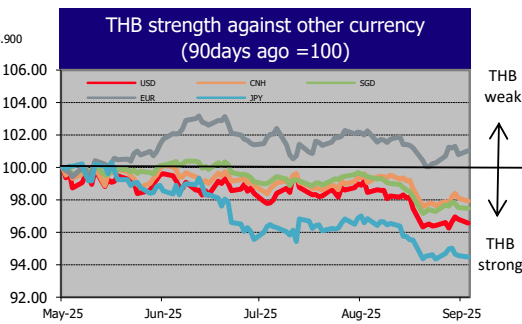
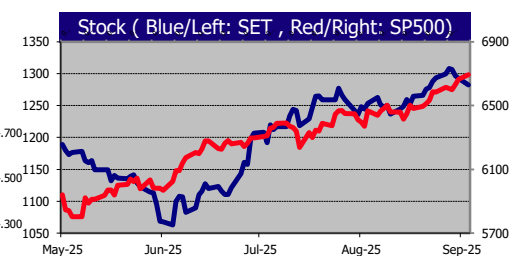
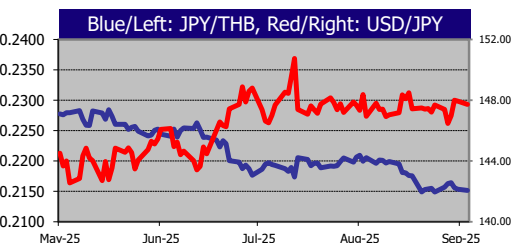
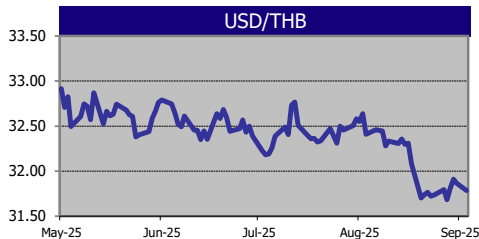
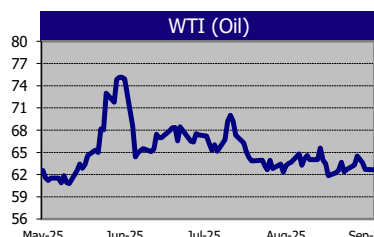
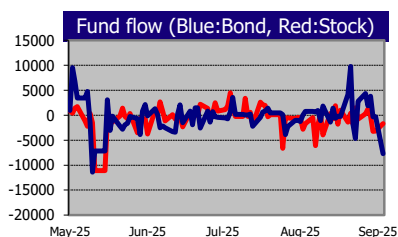
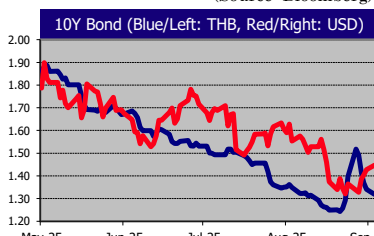
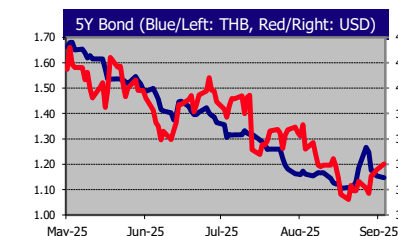
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,282.54	-10.18
NIKKEI (JP)	45,493.66	447.85
DOW (US)	46,381.54	66.27
S&P500 (US)	6,693.75	29.39
SHCOMP (CN)	3,828.58	8.49
DAX(GER)	23,527.05	-112.36

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,672)	1518.7
Bond net flow	(7,690)	-7387.7

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは31.80パーツ台前半で取引を開始。序盤はドル買いが見られたが续かず、反落。その後、アヌティン新政権による政策発表が10月1-2日になる旨伝わると、その内容を巡る思惑が交錯する中、上下したが、31.80パーツ台半ばまで値を戻した後、材料難の中再びドル売りの流れで、31.80パーツ台前半で欧州時間に渡った。NY時間においても引き続き材料乏しい中、昼にかけて31.80パーツ近辺で動意乏しく推移した後、午後はややドル売りが優勢となり31.70パーツ台後半で取引終了。

●ドル円その他

アジア時間のドル円は148円台前半でオープン。終値ベースで日経平均が最高値を更新するなどリスクオンムードの中で、ドル円もじりじりと値を切り上げ148円台半ばまで上昇。買いが一巡すると、材料難の中、上げ幅を縮小し148円台前半で欧州時間に渡った。NY時間においても引き続き材料乏しい中、昼にかけて147円台後半で動意乏しい展開。午後はややドル売りが優勢となり、147円台後半でクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日、金スポット価格が再び過去最高値を更新した。米利下げや各国中銀による金購入、地政学リスクの高まりによる安全資産需要等を背景とするものであるが、足元のパーツ高の背景には国際的な金価格の上昇があるとの見方もあり、タイ中銀や政府が警戒感を高めている。金取引におけるタイ国内の動向については、11日(木)、業界・民間団体がカンボジアへの金輸出の「異常値」、それらが違法取引である可能性を指摘。それに対し即日税関当局や商務省から金取引はすべて合法であり、民間団体の統計の出所にも疑問を呈するなど反論があったものの、15日(月)アヌティン首相が財務省に緊急調査を指示、違法性がある場合合法的措置を取ると表明。加えて、タイ当局が金取引への様々な方法での課税を協議中との内容のヘッドラインが出てパーツ安に振れたという流れであった。金価格の上昇がパーツ高の要因とも特定しきれない上に、カンボジアへの金輸出が「異常」なのかどうか、またそれがパーツ高の原因かどうかは「当局の調査中」のステイタスであり、課税その他の決定時期については新内閣発足後とされている。目先は米国の金融政策に主導されたドル安要因での現在の水準でのパーツ高の継続が基本シナリオと考えるが、リスクシナリオとして、当局による金取引への課税等が決定された場合、これまでのパーツ高の急激な巻き戻しの可能性も考えられる。10月1-2日の新内閣の政策発表、またそれまでのヘッドラインについても注意しておきたい。(岡崎)